

第38回政府現地対策本部会議、第43回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年6月28日(火) 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 地震の状況

(別途気象台から報告)

2 被害の状況

- (1) 人的被害について、前回の本部会議の報告から変更なし。重軽傷者については、1,819人となっている。
- (2) 住家被害の状況について、全壊、半壊、一部破損合計149,204棟。
- (3) 避難の状況について、18市町村、118ヶ所の避難所において、5,154人の方が避難されている。
- (4) 避難指示等の発令状況について、避難指示が5市町村、避難勧告が9市町村で発令中。大雨による発令含む。
- (5) 罹災証明書の状況について、受付件数が36市町村で157,335件、2次調査依頼件数が28市町村で30,924件、交付件数が120,594件。
- (6) 大雨による被害の状況
人的被害 死者6名、重傷者2名、軽傷者3名。
家屋被害 全壊17棟、半壊24棟、床上浸水415棟、床下浸水1,235棟

3 県等の対応状況

(企画振興部)

鉄道関係でJR九州、九州新幹線の熊本～鹿児島中央間で遅延が発生している。

川内～鹿児島中央の間で運転見合わせと書いてあるが、現段階で運行再開している。

バスの関係では、高速バスを中心に一部遅延が発生している。

航空機の関係では、天草エアラインで一部欠航している。

フェリーの関係では、通常運航となっている。

(健康福祉部)

仮設住宅のコミュニティづくりの支援という項目を追加している。

これについては、宝塚市の社協、宮城県のサポートセンターから講師を招いて、地域包括支援センター、社会福祉協議会等を対象として、研修会を6月17日に開催した。今後、7月、8月にかけて、被災市町村に対し、阪神淡路大震災や東日本大震災において実地で支援に取り組みされた方をアドバイザーとして派遣して、コミュニティづくりに携わる住民の皆様を対象とした研修を実施することとしている。

建設に着手した仮設住宅について、前回報告から148戸増えており、仮設住宅の戸

数は3,263戸となっている。

水害の関係では、物的被害のところでは高齢者関係施設で前回から比べてプラス3棟、20施設、保育所で16カ所増えて34カ所の被害。高齢者関係施設については、敷地内の土砂の流入ということで施設本体の被害はない。保育所についても雨漏り、水道水の濁りといった被害。

(環境生活部)

自然公園施設等の大雨被害の状況について、あちこちで崩壊等が起こっている。廃棄物の処理状況では、御船甲佐クリーンセンターで1号炉の方が6月30日から復旧。大雨による水道施設の被害状況であるが、上の方の3町村で300戸が断水している状況。山都町から下6市町村については、一時、断水したが現在は復旧した。

(農林水産部)

農業関係で、農作物被害として野菜・花きの冠水等の被害、果樹の樹体が流されるような被害が確認されている。

農業用施設関係では、ハウスの破損等が確認されている。

農地等では、農地の法面崩壊が1,196カ所、農道の法面崩壊が587カ所ということで、前回報告時から大幅に増えている。

林業関係で、林道の法面崩壊が156カ所。治山関係では山腹崩壊が104カ所。水産関係については、流木等の漂着に加え、浮泥等の堆積が確認されている。

(土木部)

道路関係が、かなりの通行止めが出ていたが、現時点で解除が進み、県管理の国県道合わせて33カ所の通行止めが行われている。

港湾が、河川を通じて流木等が漂着している港湾が4港に増えており、現在、対策を行っているところ。

(事務局)

危機管理防災課長の沼川です。7月1日付けで市町村課に異動になりました。発災当時から皆様には大変お世話になりました。市町村支援の観点から地震への対応をして参りたいので、引き続きよろしく申し上げます。

4 国等の対応状況

(気象台)

地震活動については、前回の会議以降、余震は1日10回未満で経過している。2日に震度4が1回、26日に震度3を1回観測している。その他は、震度2以下。

引き続き余震活動には注意が必要。

天気の見通しについて、今夜から明日にかけて梅雨前線が九州北部に停滞する。それに伴い雷を伴って激しく降る可能性がある。雨量は、本日の18時から明日の18時まで多いところで180ミリを予想している。1時間雨量は最大で50ミリ程度を予

想している。明日の昼ごろが強くなると予想している。

これまで降った雨で地盤がかなり緩んでいる。土砂災害の危険が高まっているので、雨が小降りになっても土砂災害には最大級の警戒をお願いしたい。

週間予報では、今回の雨は、明後日まで降ると予想している。本日16時30分頃、最新の気象情報を発表しているのので、詳しい内容については参考にさせていただきたい。
(国土交通省)

全面通行止めのお知らせについて、通行止めの箇所、通行止めの区間に変更はないが、大雨の影響で法面の崩壊の場所が若干増えている。復旧の見込みをご説明したいところであるが、天候状況もあり、具体的に作業に入れていない部分もある。一日も早い復旧を目指して努力しているので、なるべく早くご報告したい。

5 政府現地対策本部長の発言

(内閣府・緒方審議官)

地震からの復旧復興の対応に加え、降り続く大雨による被害の対応について大変お疲れ様です。

地震で受けた被害について、雨により被害がこれ以上広がらないことを祈念するばかりである。政府においても関係省庁会議を引き続き開いており、今回の雨による被害の情報収集について鋭意進めている。

本日、閣議において、熊本地震復旧等予備費の第3弾が決定された。内訳としては大きく3つあり、一つは、河川、道路などの公共土木施設や官庁施設の災害復旧等のための経費として169億円。二つ目として、被災した共同利用施設の再建、修繕や山地崩壊に対処するための砂防施設設置のための経費として20億円。三点目として、熊本城の応急復興を含む文化財の災害復旧等のための経費として20億円が計上されている。

今後とも、政府としても被災者の方々に寄り添いながら復旧復興を成し遂げていく時まで、中長期的な観点でとり得る限りの支援策を講じていきたい。

6 県災害対策本部長の発言

(坂本知事公室長)

今、審議官からも話があったが、熊本地震関連の国の補正予算予備費のうち、新たに210億円の執行について、本日閣議決定された。

この中には、南阿蘇鉄道の復旧に係る調査費を始め、文科省、農林水産省、国交省関連の経費が盛り込まれている。これらの支援も最大限活用しながら、創造的な復興に取り組んで参るので、皆様方の御協力をよろしくをお願いしたい。

また、大雨に関しては、先週24日夜から25日にかけて、大雨が予想され、警戒を強めていたが、一人の犠牲者も出すことなく無事に乗り切ることができた。

26日には晴れ間もあったが、現在また、24市町村に土砂災害警戒情報が発表されている。先週から降り続く雨により、土壌への蓄積雨量もかなりの水準となっている。

県民の命を守ることが、我々の最大の責務。引き続き、各部局とも万全の対応をお願いしたい。

(以 上)